

学芸員ギャラリートーク

～絵画&動物、学芸員&学芸員～

貴重な話が聞ける土門拳記念館学芸員によるほぼ月1ギャラリートーク！
今年度も残すところあと2回…1月、3月の開催日をお知らせいたします！

《日時》

2024年

①1月27日（土） | 14:00～

②3月16日（土） | 14:00～

《内容》

①絵画と巡る土門拳

②土門拳賞コレクションの自然・動物写真

《定員》

各日先着15名（当日参加可）

《参加費》

無料（入館料のみ必要）

《申込方法》

土門拳記念館へ電話申込（0234-31-0028）

または、記念館窓口で直接申込



①担当学芸員
田中耕太郎

のお気に入り仏像・室生寺十二神将未神

絵画と写真の違いって、考え始めるとよく分からなくなってきましたか？僕はよく分からなくなっているので、上手く話せなかったらすいません。今回は初めて学芸員2人体制で、各企画担当者が1回ずつトークを行ってみます。

《Profile》

東京生まれ。慶応義塾大学 美学美術史学専攻卒業。
都内で音楽・古美術・現代美術・執筆業・チラシ配りなどの仕事に携わったのち、2021年より現職。仕事以外の時間は、作曲・粘土人形の制作・アフリカ系植物の栽培に没頭。国内の若手作家を中心に絵画作品をコレクションしており、現在約20点を所有。そのうちのどれかが2億円くらいになることを願っている。

えっ、自然や動物の写真で、ナショナルジオグラフィック写真賞ではなく土門拳賞を受賞？いえいえ、意外と納得できるかもしれませんが、私にとって初めてのギャラリートークで緊張していますが、精一杯皆様にお伝えします、お気軽にご参加ください！

《Profile》

中国生まれ。東京藝術大学 大学院美術研究科博士後期課程修了。
酒田に移住して2年目。西南地方出身だが、不思議なことに東北地方に懐かしい感覚を覚えている。



②担当学芸員
王憶冰

のお気に入りの古墳時代後期の農夫の埴輪